



図書館 めくるくん通信

図書館 ☎69・3706

図書館へ行こう～分室編4～

市内に7カ所ある分室は、公民館や市民センターなど身近な場所にあります♪

◆南部市民センター分室

人気は小説・園芸・健康・料理・子育てなど。絵本や児童書も人気です。雑誌の新刊はきょうの料理、マートがあります。

場所は竹島の目の前です。海辺のお散歩途中にも、ぜひお立ち寄りください。

とき 毎週火・水・木・土曜日

午前9時～午後0時30分

※ 祝日および図書館本館の休館日は休み。

ところ 南部市民センター1階

図書館に入った本



毎月1,000冊以上の本が入ります。
一部をご紹介します♪

小説



『らくだ(新・酔いどれ小藤次6)』

佐伯泰英／著 文藝春秋

『危険なビーナス』

東野圭吾／著 講談社

読書



『私が選ぶ絵本100』

マイルスタッフ／編 マイルスタッフ

暮らし



『やめてみた。』

わたなべぼん／著 幻冬舎

育児



『うちはおっぺけ4』

松本ぶりっつ／著 竹書房

園芸



『小さな庭で季節の花あそび』

前田満見／著 日本インテグレート

人生訓



『老いの可能性』

野村克也／著 海竜社

歴史



『戦前の豊橋』

岩瀬彰利／著 人間社

貸出中の場合もありますので、本が見当たらない時はお気軽に職員にお尋ねください。

ミドリムシについて

■飲むと健康に

最近、テレビや新聞広告などで健康になる、などと言われて「ミドリムシ」が紹介されています。

青汁のような緑色の液体を飲んだり、クロレラのような錠剤タイプを飲んだりするようで、おばさんたちが大量に発注して張り切った元気に飲んでいますが、ミドリムシというのはちよつと変わったやつで、なかなかすごいやつでもあります。水中に住んでいるので水族館にもいると思います。展示を

■植物だけ動く

ミドリムシは分類的にはなんと「藻」です。コンブやワカメの仲間になります。名前にムシと付きますが植物なのです。しかし、鞭毛(べんもう)という器官を使って自由に(意思や思考があるかどうか)かわからないので自由かどうかはわかりませんが)動き回ることができます。動く植物です。ちよつ

と気味が悪い。分類はユーグレナ植物門ユーグレナ藻綱ユーグレナ目という宇宙生物的な感じで、基本的にユーグレナなやつということですが、ユーグレナというのはいささか眼という意味。つまり眼がある。植物なのに。気味が悪い。肉眼で見られないくらい小さくて眼があつて植物なのに動く。かなり気味が悪い。

眼といつても光を感じるくらいのお眼です。したがって飲んでおばさんのことをコップの中からガラス越しに見てにらんでいるわけではない。良かったですね。複数の細胞が集まって成り立つ生物ではなく、一つの細胞、すなわち単細胞の生物で、それを聞くとあまり頭の良くない私にはなにか急に

■ 親近感がわいてしまう。人も救うし地球も救う
ミドリムシにはビタミン、ミネラル、DHA、EPAなど、まさに体にいい！という喜びの成分が詰まっているので健康食品となりました。植物特有の食物繊維がないので野菜よりも消化吸収しやすい。さらに水中の成分を吸収するので水質の浄化にも役立ち、植物なので光合成をするので二酸化炭素の削減にも役立つ。大量のミドリムシから燃料の抽出をすることもでき、飛行機を飛ばす実験も行われているそうです。栄養満点なので家畜の餌にも期待されています。ミドリムシ自体は水たまりや田んぼによくいるのですが、そこには他の有害微生物も一緒に存在するので飲んではいけませんよ。



館長 小林龍二

竹島水族館
☎68・2059